

2013/8/25 (Sun.) 第82号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

参議院比例代表選挙

はにゅうだ

羽生田たかし氏

約二十五万票で初当選



万歳!! 横倉義武委員長(中央)、羽生田たかし副委員長(左から2人目)ら日医連役員

第23回参議院議員選挙は、7月21日投開票が行われた。
 比例代表(全国区)に日本医師連盟推薦(自民党公認)で立候補していた、羽生田たかし日医連副委員長(日医副会長)は、24万9818票(自民党6位)を獲得し見事初当選を果たした。

**自民党新人では二位の高
 位で初当選**
 開票日当日は、横倉義武日医連委員長、羽生田たかし副委員長をはじめ、日医連役員は日本医師会館に参集し、病院団体や支援団体・企業の関係者などとともに、開票状況を見守った。

NHKの開票速報では、投票締切の午後八時直後から自民党候補者の当選確実が次々と報じられた。午後八時十分、羽生田副委員長の当確が打たれると、会場内は大きな歓声に包まれ、羽生田副委員長は立ち上がり支持者に深々と頭を下げた。
 そのうち、横倉委員長の発声

で万歳三唱が行われ、羽生田副委員長から日医連、各病院団体をはじめ支援団体や支援者らに御礼の挨拶があった。続いてダルマの目入れが行われた。
 詰め掛けた支援者一人ひとりと硬い握手を交わした羽生田副委員長は、マスコミの取材を受けたあと、地元支援者の待つ群馬県前橋市の選挙事務所に向け日医会館をあとにした。



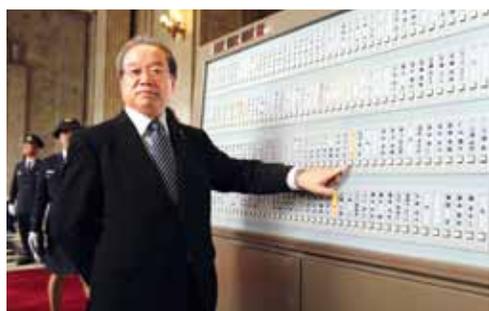
ダルマの目入れ

**武見敬三氏は東京選挙区で
 当選**

武見敬三参議院議員は東京選挙区において、六十二万二千三百八十八票を獲得し四回目の当選を果たした。

**羽生田参議院議員初登院、
 議員会館事務所決まる!**

今回の参議院選挙で初当選した羽生田たかし参議院議員は、八月二日、第百八十四臨時国会の開会式に臨むため、参議院に初登院した。



8月2日 初登院する羽生田参議院議員



羽生田たかし国会事務所

〒100-8962
 東京都千代田区永田町二-1-1
 参議院議員会館三一九号室
 電話(〇三)三五八一-三二一一(代表)

写真で振り返る参院選



③ 街頭で訴える羽生田たかし



② 7月4日 選挙車で遊説に出発



① 7月4日 出陣式 ガンパロー



⑥ 7月20日 17日間の選挙戦を終え、最後の挨拶



⑤ 支援者の方々と握手



④ 個人演説会で政策を訴える

日医連執行委員会開催

日医連は、七月二十三日、日国会館で執行委員会を開催し、第二十三回参議院比例代表選挙について報告を行った。



7月23日 日医連執行委員会（左から）古川俊治参議院議員、武見敬三参議院議員、横倉義武委員長、羽生田たかし副委員長

執行委員会は今村聡副委員長の司会で開会。

横倉義武委員長は、今回の参議院選挙における羽生田たかし副委員長の支援活動について、全国の医師連盟（医師会）会員への御礼と感謝の言葉を述べたのち、次のように挨拶した。

「半年という極めて短い運動期間にもかかわらず、羽生田副委員長が上位当選を果たすことができたことは、全国の医師連盟（医師会）が一丸となった結果である。

当選した羽生田先生の役割・使命は極めて重いものであるが、同時に、今後も羽生田先生を推薦した私横倉をはじめとする、本日出席の先生方お一人お一人がしっかりと羽生田先生を支えていかなければならないと考えている。

今後、医療費の抑制政策が押し進められる懸念もあるなか、本日出席の武見先生、古川先生、羽生田先生はじめ、医療に理解のある国会議員の先生方との連携をより強固なものにして、私どもの考える国民のための医療政策を推し進めて行かなければならないと考えている。そのためには強い医師連盟（医師会）を構築しなければならぬ。今回獲得した二十五万票が日医連（日医）の集票力の現状であり、日医会員一人が二票をも獲得できていないのが現状である。

第23回参議院比例代表選挙「羽生田たかし」都道府県別得票数

	「羽生田たかし」得票数	A①会員	A①会員1人当たり得票数
北海道	5,222	2,357	2.22
青森県	3,187	720	4.43
岩手県	2,721	726	3.75
宮城県	2,991	1,376	2.17
秋田県	1,300	604	2.15
山形県	1,215	708	1.72
福島県	2,184	1,092	2.00
茨城県	2,089	1,377	1.52
栃木県	3,689	1,177	3.13
群馬県	43,163	1,344	32.12
埼玉県	8,235	3,468	2.37
千葉県	4,384	2,942	1.49
東京都	14,840	9,881	1.50
神奈川県	8,184	5,267	1.55
新潟県	1,815	1,280	1.42
富山県	1,185	694	1.71
石川県	3,130	718	4.36
福井県	2,986	478	6.25
山梨県	942	543	1.73
長野県	3,195	1,230	2.60
岐阜県	6,819	1,309	5.21
静岡県	3,871	2,192	1.77
愛知県	9,822	4,474	2.20
三重県	2,523	1,237	2.04
滋賀県	1,626	806	2.02
京都府	2,642	2,211	1.19
大阪府	9,314	7,712	1.21
兵庫県	6,874	4,575	1.50
奈良県	2,435	1,050	2.32
和歌山県	1,407	960	1.47
鳥取県	1,494	411	3.64
島根県	1,583	501	3.16
岡山県	2,835	1,363	2.08
広島県	4,736	2,321	2.04
山口県	3,573	1,118	3.20
徳島県	1,635	692	2.36
香川県	1,051	738	1.42
愛媛県	4,049	1,090	3.71
高知県	2,160	524	4.12
福岡県	29,880	3,882	7.70
佐賀県	3,383	643	5.26
長崎県	6,558	1,235	5.31
熊本県	8,318	1,349	6.17
大分県	2,251	902	2.50
宮崎県	3,380	800	4.23
鹿児島県	5,161	1,204	4.29
沖縄県	3,781	770	4.91
合計	249,818	84,051	2.97

「全国の先生方に大変お世話になりました。全国比例区で当選することができました。本当にありがとうございました。選挙期間中に訴えた政策や、全国各地で伺った様々な課題について、これからは国会という場でしっかりと私のシンクタンクであるという

私（要旨）のシンクタンクは日本医師会であり、その意味は、全国の医師会員すべての皆さまがかりと任事をして参りたい。私のシンクタンクであるという

意味であり、全国の会員の先生方のご意見をしっかりと国政の場で生かす、そういう努力をし

は別表に記載。意味であり、全国の会員の先生方のご意見をしっかりと国政の場で生かす、そういう努力をし

議員の先生方との連携をより強固なものにして、私どもの考える国民のための医療政策を推し進めて行かなければならないと考えている。そのためには強い医師連盟（医師会）を構築しなければならぬ。今回獲得した二十五万票が日医連（日医）の集票力の現状であり、日医会員一人が二票をも獲得できていないのが現状である。

今回の参議院選挙は強い日医連（日医）をつくる第一歩であり、まだまだ、強い組織づくりは道半ばである。しかしながら、この半年間全国の会員の先生方から寄せられた羽生田副委員長支援への熱い想いを私たちが執行部は忘れることなく、これからは全国の医師連盟（医師会）が一丸となって医療政策実現のために、全力で邁進する覚悟であるので、今後も変わらぬご支援をお願いしたい（要旨）」



7月23日 日医連執行委員会
て参る所存です。で、今後とも、変わらぬご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます（要旨）」
そのうち、東京選挙区で当選した武見敬三参議院議員、埼玉選挙区で当選した医師である、古川俊治参議院議員が挨拶に立ち、今回の選挙の支援に対する御礼と今後の活動への抱負を述べた。
引き続き、今村副委員長から、参議院比例代表選挙における羽生田副委員長の詳細な得票内容についての報告がなされた。

日医会員一人ひとりの意見を国政へ